



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international

2020~
2021年度
テーマ

国際ロータリー 「ロータリーは機会の扉を開く」 R.I.会長 ホルガー・クナーク

地区方針 「ロータリーは無数の可能性：情熱で夢を未来に届けよう」
R.I. 2720 地区 ガバナー 硯川昭一

熊本グリーンRC 「ロータリーの夢に向かって情熱を持って挑戦しよう!」
熊本グリーンRC会長 荒木一之



ロータリーは機会の扉を開く

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：荒木一之 ■幹事：河野景治 ■会報担当：田中慎二
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

令和2年7月13日

第1381回

2020-2021年度 第2回

【例会】

★コロナウイルス感染防止の為、ロータリーソングは音楽のみを流します。

1. 閉会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

来訪者紹介 (荒木一之 会長)

ビジター

熊本RC 立石 和裕 君

会長スピーチ (荒木一之 会長)

今日は改めてロータリーの目的を検証してみたいと思います。旧ロータリーの綱領からよると意義ある事業の基盤として奉仕の理念を奨励しこれを育むことにあります。なかなか難しく書いてあります。

例えば4つのテスト

- 1、真実かどうか、
- 2、みんなに公平化かどうか
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるかどうか

どうしても皆さん立派な知識の方が多くて文学的な表現になってしまっているようです。

これをいかに分かりやすくすることが出来るかと考え、小学5年生に判るようにするというテーマにしてみました。そうするとまず

4つのテストの

- 1、真実かどうか、は、うそついてないよな、
- 2、みんなに公平化どうか は、一人だけ得してないよな
- 3、好意と友情を深めるか は、好き嫌い無しで付き合おう
- 4、みんなのためになるかどうか は、お互いに良い事しよう

などはどうでしょう

またロータリーの目的では

- 1.知り合いを広めることにより奉仕の機会とする事、
- 2、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 3、ロータリアン一人一人が、個人として、また事業及び社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること、
- 4、奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進する事

同様に最初のロータリーの目的をこれを小学5年生にわかるようにするには、

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。

というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

卓話予定

- 7/20 会員卓話 (十時義七郎会員)
- 7/27 会員卓話 (伊津野良治会員)
- 8/3 「会員増強クラブフォーラム」
- 8/10 祝日 (山の日の振替) 定款第8条第1節により例会取り止め

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

- 1、知り合いを広めることにより奉仕の機会とする事、は
- 2、仲間をいっぱい作っていい事しよう
- 3、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすることは、
- 4、まじめに仕事して、人の為自分の為になる仕事をして、ロータリーの人はずごといいよう
- 5、ロータリアン一人一人が、個人として、また事業及び社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること、も同様にすると
- 6、ロータリーの人には人の役に立つ仕事をして近所の人とも仲良くし、みんなに良いことをして、家族仲良くしていこう
はどうでしょう
- 7、奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進する事
これはなかなか難しいですが
- 8、好き嫌いなしに仲良くし、仕事もがんばり、世界中の人と友達になり、けんかしないで仲良くしていこう
という言葉にしてみました皆さんはどう思われるのでしょうか？
ロータリーの創始者ポールハリスはロータリーは親睦から始まったとあります。最初のロータリーの集まりでは皆、職業上の悩みを相談する会でもあったとあります。
例えばうちの会社ではこう言う事で悩んでいるとあれば、いろいろな業種が集まって、発想もアイデアも違う事が出ると思っています。それから学び合う親睦、お互いを磨き合う親睦、になり、クラブが経営相談所のような役割をもってクラブ員が豊かになっていったとあります。これを小学5年生にわかるようにするにはそこから自然発生的に奉仕活動が生まれたとあります。衣食足りて礼節を知るといいますがクラブ員も仕事がうまくいって奉仕が出来ると思えます。

仕事や生活に役に立つロータリーでありたいと思います。そこから Fellowship for Service 奉仕する仲間になっていくと思います。

幹事報告 (田中 慎二 副幹事)

報告事項(その他のロータリー関係)

①ガバナーノミニー・デグジネート(堀川 貴史ガバナーノミニーの次の方)候補者推薦について

2023~2024年ガバナー候補者がクラブよりある場合は、2020年9月7日(月)必着でクラブよりご推薦下さい。

【例会変更・取り止め】

<例会変更>

[熊本西 RC]

7月7日(火)の例会は、ガバナー公式訪問合同例会のため、7月9日18:30より、ANAクラウンプラザホテルニュースカイにて行います。

出席報告

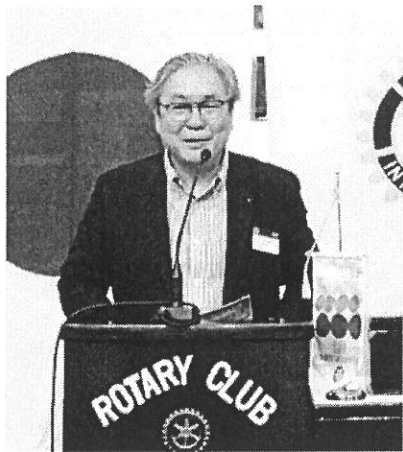
(西村和真文クラブ管理運営委員(出席担当長))

	会 員 総 数	21名	出席率
7月13日	出席免除会員数	1名	65.00%
	計算上会員数	20名	
	出席会員数	13名	
6月29日	前回の出席会員数	19名	90.48%
	メイクアップ数	0名	
	修正出席会員数	19名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
なし			

その他報告

激励の言葉

報告者:熊本RC 立石和裕氏 ビジターとして熊本RCの立石和裕会員が来訪され、高校の同級生である荒木会長に激励の言葉を頂きました。



スマイル

(山口 翼クラブ管理運営委員
スマイル担当)

●荒木 一之 君、河野 景治 君

「熊本ロータリークラブの立石会員のご来訪に感謝のスマイルを申し上げます。」

「新年度の各委員会、そして役割分担が動きはじめました。皆様どうぞ宜しく申し上げます。」

●立石 和裕 君(熊本RC)

「熊本RCの立石です。中学・高校の同級生の荒木君が会長に就任したと聞き激励のメッセージに参上致しました。1年間頑張ってください。」

●伊津野良治 君

「先日タナバタさんで家内のお願い短冊が多すぎて笹が倒れてしまいました。」

『星祭り 笹たおれんばかりの願い事』

●上田 観一 君

「私が小学生の時、2度水害に会いました。1度目の6.26水害は大江(白川中学校前)で道路が泥流化し、人が流され、廃材等大変な思いをしました。2度目は坪井(寺原自動車学校)の近くであっという間に畳がプカプカ浮き、すぐ2階まで増水し、2階まで逃げ屋根に脱出しました。今 TV等で映像が写し出されている屋根で助けを待つ姿は数十年前の私達を思い出しました。災害を受けた方々にお見舞い申し上げます。」

●江上 泰弘 君

「人吉地方の水害、大災害になりました。お見舞い申し上げます。今日夜から熊本地方でまた大雨の予報です。お気を付け下さい。」

「私ごと、2週続けての出席、本年度100%進行中です。」

●田中 純司 君

「荒木会長年度2回目の例会です。先週に引き続き新入会員の皆様も出足良好ですね。この調子で1年間頑張ってください。又、熊本ロータリーの立石様ようこそいらっしゃいました。歓迎のスマイルです。」

●本田 悟士 君

「熊本RCから立石和裕会員のご来訪を頂きました。感謝してスマイルします。荒木会長の情熱が伝えるもの、つなぐご縁を感じます。本日も宜しくお願いします。」

●田中慎二君、山口 翼君、西村和真君

「本日は2回目の新体制になります。今日、初スマイルをさせていただきます。」

3. 例会プログラム

委員長就任挨拶

- ① 田中純司クラブ管理運営委員長
- ② 江上泰弘公共イメージ委員長 卓話者
- ③ 河島一夫奉仕プロジェクト委員長
- ④ 上田観一青少年奉仕委員長
- ⑤ 大友利行ロータリー財団委員長

◆クラブ管理運営委員長 田中 純司

クラブ管理運営委員長に就任いたしました。何度目か記憶が定かではありませんが、皆様のご協力をお願いします。

今年度はコロナウィルスの影響でクラブ協議会も各委員会の家庭集会も”バタバタ”でゆっくり準備する時間がありませんでした。



特に、管理運営委員会は例会の毎回々が待たなして活動があります。家庭集会、

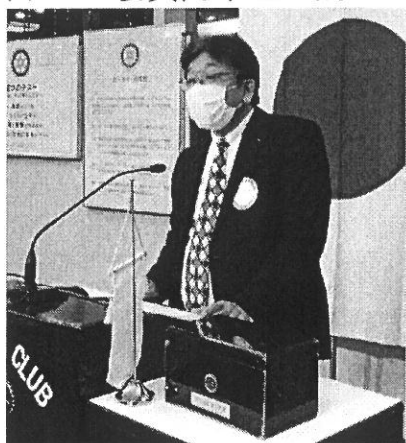
クラブ協議会とも欠席者が多く、やむを得ず7月8日の午後9時から山下会員のご協力でZOOM会議を開催しました。出席された管理運営委員会の委員の皆様と荒木会長、河野幹事には感謝申し上げます。

ここ数年、我がクラブの会員数が減少しており、管理運営委員会も少人数の運営となります。新しい会員が多い中、ほぼ全員に何かの担当をしていただきました。経験がないと難しいプログラム担当と親睦担当は、それぞれ、山下会員と河島会員にお願いしました。新しい会員には、会報担当を田中慎二会員、出席担当を西村会員、スマイル担当を山口会員、受付担当を宅間会員にそれぞれお願いしました。宅間会員は受付の担当長ですが、新入会員の西村会員と山口会員も担当とさせていただきます。

例会の時は忙しくなると思いますが、週報の1ページの下に書いてある通り、”グリーンロータリークラブの例会の日がきても、出席するかどうか決めるに及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事ですから、これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです”を実践すれば大変なことではないと思います。

クラブ管理運営委員会の活動は、例年と大きく変わることはありませんが、出席のファンファーレを出席率85%から80%に変更しました。私、委員長の独断で決めさせていただきました。一年間よろしく申し上げます。

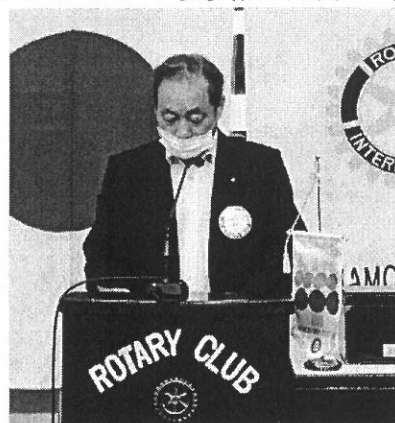
◆公共イメージ委員長 江上 泰弘



公共イメージ委員会の活動計画にも書いておりますが、①「ロータリーの友」の紹介とクラブの活動の投稿、②当クラブの活動の外部への発信、③ホームページのタイ

ムリーな更新とフェイスブックの活用。この3点は、世界中のロータリークラブの活動や情報を知り当クラブの魅力を全国にまた、地域に発信していくことが、公共イメージ委員会の今年の目標です。当委員会は、5名で活動しますが会員の皆さんも多くの知人にロータリーの理念や活動をまた、グリーンクラブの歴史や奉仕活動への思いそして楽しさを語っていただくことで一般の方々のロータリークラブへの認識が形作られていくと思います。ひいては会員増強にもつながっていくと思います。今年一年よろしく願いいたします。

◆奉仕プロジェクト委員長 河島 一夫



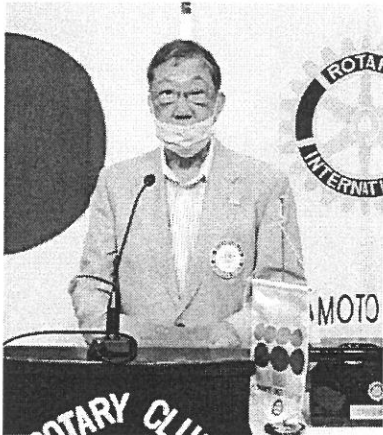
今年度、委員長を仰せつかりました河島です。一年間よろしく願いいたします。副委員長に仙波会員と委員に上田会員他5名と大所帯ですが、これは、秋に行われます熊本学園大学の「在校外国人留学生日本語弁論大会」に、私どもクラブから総額10万円の賞金を出して、弁論大会を盛り上げようとの企画のために、人数を増やしてあるのではないかと思います。このプロジェクトには、青少年奉仕委員会が、主に行うようになるかと存じますが、応援していきたいと存じます。その他には、例年援助しています「ホテルの育成」には、今年も行っています。他にも会員より提案がありましたならば、積極的に取り組んでいきたいと思っております。しかしながら、コロナ禍が治っていません。コロナ禍が治らないと職場訪問等も難しいのではないかと考えています。

◆青少年奉仕委員長 上田 観一
委員長 上田観一
副委員長 本田悟士 (アクト担当)

委員 田中慎二(〃)

〃 石浦順一 (留学生弁論大会担当)

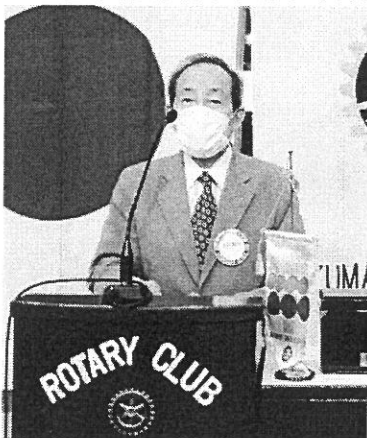
〃 山下佳介(〃)



1. 本年度の主要目的はロータアクトの会員増強が一番であると思います。今年度からロータアクトの年齢制限がなくなったとの事で、今後理事会やロータアクターと年齢の上下限を決め、その後卒業した方々へ入会案内を行い再入会を勧めて、会員増強に繋げて行きたいと思います。(アクトの年齢制限に関しては当2720地区では、地区の主導で決定していくとの事でした。)

2. 次の事案として、熊本学園大学で行われる「在校外国人留学生、日本語弁論大会」をグリーンクラブに委ねるとの学園大学からの要望も踏まえ、学園大学と打ち合わせながら、詳細を決めて行きたいと考えます。上記の計画を進めて行く事により、留学生や在校生をロータアクト入会へ、繋げていける方法の一つであると思います。留学生や在校生をロータアクト入会へ、繋げていける方法の一つであると思います。

◆ロータリー財団委員長 大友 利行

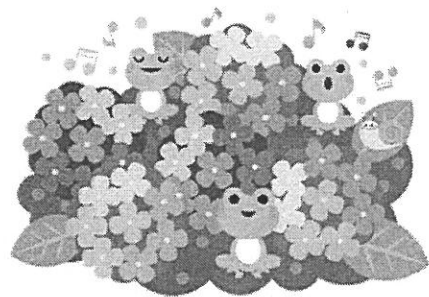


ロータリー財団委員長は、ロータリークラブの財团的貢献を支援する委員会です。やるべきことはいろいろですが、今年度は財団を豊かにすることをセミナーへの出席で学んでゆきたいと考えています。補助金を活用することも大事で、特にグローバル補助金の活用は最近ほとんどなされて居りません。グローバル補助金を活かした活動は単年度ですぐに出来るものではありませんので、今年度は先のことを考えて実行出来る立案にしたいと考えています。

4. 閉会・点鐘

*例会終了後、

前年度・今年度合同理事会開催



ロータリークラブの活動(国内編)

新型コロナウイルス感染症

COVID-19 今すぐ支援が求められています

People of action

新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）で、マーク・ダニエル・マローニー国際ロータリー（R1）会長テーマ「ロータリーは世界をつなぐ」は、これまで以上に大きな意味を持つようになりました。地域社会の中核にあるロータリークラブはこの状況の中で大きな役割を果たしており、支援を必要とする人たちのために精力的に活動しています。ここでは、いち早く行動を起こした事例の一部を紹介します。

駅前でマスクを配布 衛生管理を啓発

新発田城南RC



集めたマスクを通行人に配布する会員

クラブでは、地域で衛生管理の啓発活動をする
と決めたものの、既にマスクは品薄状態のため、
会員が自宅や会社から持ち寄って約1,000枚を
確保。他にはポケットティッシュ1,000個も準備。
会員15人で、毎回1時間限定の活動として計画
し、JR新発田駅前「衛生管理を徹底しましょ
う」と、のぼりを立てて配布、啓発しました。こ
の日は高校入試の合格発表日で、生徒や親御さん
にも大変喜んでもらえました。その他、市役所前、
ショッピングセンターなどでも活動。会員夫人に
よる手作りマスクや、取引会社から提供を受けた
ウェットティッシュなども加わって、地域の人た
ちへの助けになったと思います。

(第2560地区 新潟県)

IM登録料をフードバンクへ寄付

甲府南RC



寄付金を手渡す小林彰男会長(右)とフードバンク山梨・米山けい子理事長(左)

地元の認定NPO法人「フードバンク山梨」は、
安全に食べられるのに箱が壊れるなど、販売に向
かなくなった食品を企業から寄贈してもらい、施
設や団体に提供する活動を行っています。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、学
校が臨時休校となり、緊急の食糧支援を必要とす
る困窮世帯で需要が増加。それに伴い、フードバ
ンク山梨では、配送料などの運営費が不足してい
ることを知りました。そこでクラブは、開催中止
となった山梨第3グループインターシティミー
ティング(IM)の登録料、計35万円を全額寄
付することにしました。

(第2620地区 山梨県)